

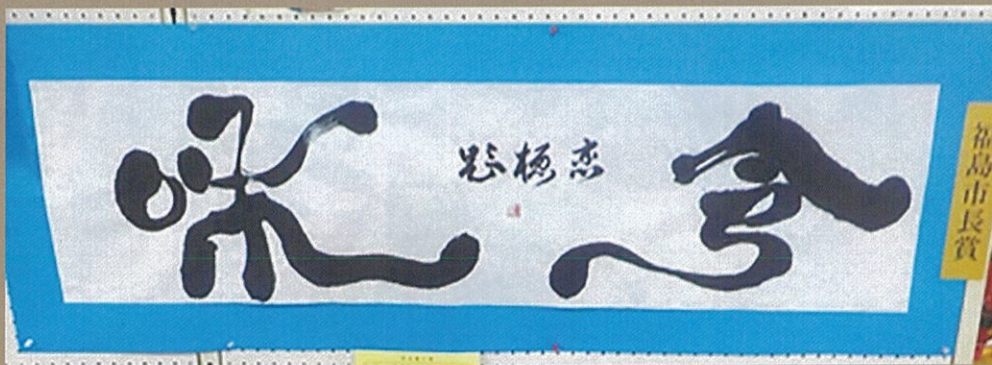
けやきの村便り

発行●社会福祉法人けやきの村 〒960-0261 福島市飯坂町中野字高田前2-7 TEL024-542-3275 FAX024-542-6978
E-mail:keyakinomura@deluxe.ocn.ne.jp

社会福祉法人けやきの村経営理念「あなたとともに そして あなたのために」

福島市
福祉作品展作品
「福島市長賞」

題名「令和」
作者「小山広彰」



理事長 年頭のあいさつ

令和4年1月4日の仕事始めにあたり、理事長から職員に対して行った「年頭のあいさつ」から一部抜粋し、社会福祉法人けやきの村の事業推進の方向をお示ししたいと思います。

令和4年、2022年の年頭にあたり、令和4年度（2022年度）の取組みと、令和6年度（2024年度）からの次期中長期計画の柱になるであろう課題も含めて申し上げます。

一つ目は、「人事考課、勤務評定制度の見直し」です。今年度は、試行として「目標管理による3か月ごとの面談」と「勤務評定の自己評価」を行ってまいります。令和4年度は引き続き「目標管理による3か月ごとの面談」及び「勤務評定の自己評価」を実施しながら、新たに評価項目の内容等の検討を新たに組織するプロジェクトチームで行い、令和5年度から本格実施、令和6年度から給与への反映というスケジュールを進めてまいります。

二つ目は、「次世代を担う職員の育成と、若手の起用」です。次の50年を踏まえた課題の一つである40年を経過した青松苑、静心園のハード面での充実をどのように行うのかと併せて新たな事業展開というものを見据えたとき、これからの5年間で非常に重要であると考えます。つまり、法人のトップとして目指すべき将来像を具体的にどう示すのか、そして、この期間に次世代を担う職員をいかに育成できるか、若手を経営部門に起用できるか、法人の未来が変わってくると思っております。

三つ目は、「長期的な視点からの事業の展開」です。昨年の年頭の挨拶のなかでも触れましたが、国は何を指しているのか、地域の皆さんが何を必要としているのかを把握し、それに対して法人の事業展開をどうするのかを描いていくことが重要になってきます。現状の提供サービスを維持することが前提ではなく、新たな事業展開分野に焦点を定め、将来像を描き推進していくことです。令和6年度の報酬改定に向けた国の議論を注視しつつ、県北圏域の実態を踏まえ、未来予想図を描きたいと思っております。

四つ目は、「支援の質の向上」です。意思決定支援を核とした権利擁護支援を充実させるためには、一人ひとりの職員が提供する支援・サービスの質の向上を図ることが必要となります。そういう意味では、目標管理に基づいた人事考課、勤務評定制度の導入は欠かせないということになります。働く職員が、専門性に基づいた強いモチベーションと高い意識をもって提供することで支援の質は向上します。現在進めている各

施設における「改善の取組みに加えて、法人として、職員の育成と併せて支援の質の向上を目指した具体的な取組みを行ってまいります。その一つとして、今年度、第一期生17名に受講していただいている「あすなろ塾」ですが、第二期生を募集します。

五つ目は、「地域との連携、多機関との連携」です。現在法人として連携している組織は、「福島県北地区障がい福祉連絡協議会」、「福島地域福祉ネットワーク会議」そして「共生社会ふくしま実現協議会」があります。また災害時の避難支援を地域として進める「中野地区避難支援推進会議」や法人の地域支援推進委員会が進めているいざか子ども食堂「いっしょ」の運営支援が具体的な実践例となっています。「福島県北地区障がい福祉連絡協議会」は、アンケート調査による地域課題の把握と提言、研修会の開催を主要な柱として事業をおこなっています。「福島地域福祉ネットワーク会議」は、小規模法人連携事業として、地域のさまざまな課題に対して法人間連携に基づき事業を行ってまいります。具体的には地域の高齢者の「買物支援・移動支援」、農家と連携した「農福連携」等です。「共生社会ふくしま実現協議会」は、市内の社会福祉法人や事業所、民間企業との連携による授産製品の常設販売、「いきいきふくしまマーケット」など共生社会実現に向けたイベント開催、令和4年度からは道の駅「ふくしま」と連携した共生社会実現のためのイベント開催、令和6年度から（仮称）市民センターにオープンする「カフェ」と常設販売店の運営、共生社会実現に向けた情報発信を行ってまいります。

私たち福祉に従事する者が目の前の支援を必要としている方々への支援をするのは当たり前なことですが、私たちに必要とされていることは、さらに一歩足を前に進め、私たちが暮らす地域の抱える課題克服のために役に立つということです。ここで紹介したさまざまな連携に一人でも多くの職員に関わってもらう環境をつくり、実践者として足を踏み出す機会をつくってまいります。そのことが法人の経営理念を実現するスタートになると思っています。

結びに、「あなたとともに そして あなたのために」という法人の経営理念が職員の皆さん一人ひとりにしっかりと根付くよう、核となる取組みもしっかりと進めてまいります。そして、職員の成長がご利用者、地域の安心・安全につながり、社会福祉法人けやきの村が「地域になくは困る存在」になったといわれるように、ともに精進していくことをここにお願い申し上げます。

社会福祉法人けやきの村

理事長 舟山信悟

村ひろば

青松苑

クリスマス会



今年も、コロナ対策のなかでの開催でしたが、美味しい食事にプレゼント、スライドショーを楽しみました。

節分

今年の年男と年女で一年の幸せとコロナにかからないように豆まきを行いました。



ゲーム大会

今年も感染対策をおこないながら、ボーリング、しりとり、打楽器を用いた応援合戦で久しぶりに楽しい時間を過ごしました。

けやきの村

クリスマス会



12月16日、クリスマス会を行いました。コロナ禍のため昼食と余興の2部構成とし、お昼はクリスマスメニューの昼食を堪能し、余興はクジを行い最後に園長サンタよりプレゼントをいただき楽しいひと時を過ごしました。

節分



2月3日、節分の豆まきが行われました。1階と2階、作業室に分かれて密を避けながら豆まきを行いました。

桃の里

利用者様作品



中野地区展覧会が残念ながらコロナ禍の為中止になってしまいました。出展しようとしていた作品を何点か載せたいと思います(^^)/

ボウリング大会



桃の里のボウリングは、見ての通り傾斜がついております☆ボールを真中に置いて、そっと手を放すだけでOK!! 「ガシャーン」と気持ちの良いピンの倒れる音がします!!

静心園

節分



2月3日、節分が行われました。迫力のある鬼に利用者の皆様からは、驚かれたり、喜ばれたりする様子が見られました。また、鬼めがけて豆を投げ、今年一年の無病息災を願いました。

クリスマス会



12月15日、園内ホールにてクリスマス会が行われました。利用者の皆様楽しんでいただけるよう、利用者さんのピアノ演奏や、職員による〇×クイズ、二人羽織を行い、余興を楽しんでいただきました。また最後には、恒例のサンタによるプレゼントの配布もあり、皆様大変喜ばれていました。

相談支援センター

認知症サポーター養成講座を開催しました

12月27日 社会福祉法人けやきの村の職員を対象に認知症サポーター養成講座を開催し、新たに10名の方が認知症サポーターとなりました。受講した方からは、「認知症についてより詳しく知ることが出来た」「最新のデータが知れて勉強になった」などの声がありました。



共生社会ふくしま実現協議会活動 (フードバンクとの連携)

相談支援センターでフードバンクから提供された「おせち料理」を中野地区、飯坂地区の一人暮らしの高齢者等16世帯に届けています。法人が会員となっている「共生社会ふくしま実現協議会」と「NPO法人ビーンズふくしま」との食品の提供に関する合意書に基づく活動です。



ふくしま県民アプリ 「チーム対抗バーチャル ウォーキング大会参加」

社会福祉法人けやきの村は福島県健康づくり推進課主催の「チーム対抗バーチャルウォーキング大会」に法人で11チーム参加しました。バーチャルウォーキング大会は「ふくしま健民アプリ」を利用した大会で参加メンバー同士の歩数を確認することができるので、互いに声掛けをしながら参加し、メンバー同士のコミュニケーションの向上も図れました。

今後も法人として健康事業に積極的に取組、職員の健康づくりをサポートしていきたいと思えます。

順位	チーム名	参加職員	平均歩数	福島県順位 (162チーム参加)
1	八巻と愉快な仲間たち	八巻 敦俊 萩原美也子 山田 将	12,680	12位
2	チョコボール	三好 卓也 佐藤 直裕 清水 秀規	11,878	18位
3	せいしょうえん	白坂 健 菊地 則子 黒澤 聡子	9,868	34位

けやきの村家族会連合会 永年勤続表彰式

1月19日、社会福祉法人けやきの村家族会連合会による永年勤続表彰式が開催されました。法人10年勤続職員が対象となり、今年度の受賞者は4名の職員が対象で、稲場茂男会長より表彰状と記念品が授与されました。



いざか子ども食堂 いっしょに

福島市飯坂町湯野の不動寺で飯坂地区で初めての子ども食堂が12月8日、プレオープンしました。毎月第1土曜日の午前10時～午後3時に開催されます。社会福祉法人けやきの村も特別協賛として協力させていただいており、12月8日は職員6名、2月5日は職員2名がボランティアで参加しました。



寄付 ボランティア・奉仕活動

《寄付》

トモト電子工業株式会社	青	寄付金
福島市社会福祉協議会飯坂協議会 協議会中野地区会 様	け青静	梨
福島市社会福祉協議会 飯坂協議会東湯野地区会 様	け青静	りんご
福島駐屯地 曹友会 様	け青静	みかん・りんご
パナソニックコネクティッド ソリューションズ労働組合 様	青	家電製品
日本キリスト教団 福島地区協会婦人会 様	け	タオル・雑巾
秋葉 初美 様	け	介護用品

《寄付》

福島市立北沢又小学校 区交通安全母の会 様	け	チューリップ球根
鈴木 義雄 様	け	桃・筍
五十嵐 保雄 様		
五十嵐 牧子 様	け	会津みしらず柿
遠藤 東美江 様	け	米

《ボランティア・奉仕活動》

平野婦人会 様	け	清掃作業
---------	---	------

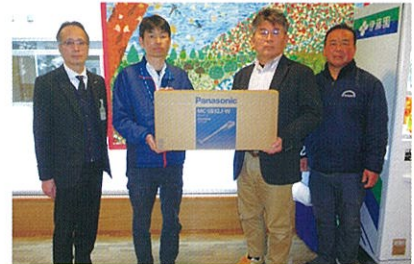
福島市社会福祉協議会飯坂協議会 東湯野地区会様よりりんごの寄贈

12月9日、福島市社会福祉協議会東湯野地区会様より、りんご（品種：サンふじ）を寄贈いただきました。寄贈いただきましたりんごは、法人の各施設利用者様に提供させていただき、大変美味しいと評判でした。



パナソニックコネクティッド ソリューションズ労働組合様より 年末プレゼントの寄贈

12月27日、パナソニックコネクティッドソリューションズ労働組合様より社会福祉法人けやきの村へ年末プレゼント（掃除機）の寄贈がありました。寄贈いただきました掃除機は大切に使用させていただきます。



福島ヤクルト販売株式会社 ヤクルト親交会様より寄付

12月21日、福島ヤクルト販売株式会社様より寄付金をいただきました。

いただきました寄付は、利用者様の生活の質の向上のため、有意義に使わせていただきます。

誠にありがとうございました。



福島市社会福祉協議会飯坂協議会様より 「歳末たすけあい義援金」の贈呈

1月18日、福島市社会福祉協議会飯坂協議会 会長丸山正好様よりけやきの村・青松苑・静心園の3施設へ「歳末たすけあい義援金」の贈呈がありました。誠にありがとうございました。



編集後記

今年の冬は例年より雪が多く、自宅でも職場でも除雪作業に追われていたような気がします。道路も道悪で通勤や外出の際は大変気をつかいました。ですが、もうすぐ暖かい季節がやってきます。今年は花見できるかな～!(^^)!

令和3年度中央競馬 馬主社会福祉財団 助成事業完了

令和3年度中央競馬馬主社会福祉財団助成金をいただき、青松苑に温冷配膳車を整備しました。

総事業費 2,032,800円

助成金額 1,440,000円

